

—目次—

- ◇ フィリピンからご挨拶 (P1)
- ◇ こども医療援助 (P1)
- ◇ 英語研修&子供ボラ (P2)
- ◇ イロイロ・インタビュー (P3)
- ◇ ワークキャンプ報告・募集 (P4)
- ◇ こども学資援助 (P5)
- ◇ メンバー募集 (P5)

Jun 2006

【フィリピンからご挨拶】

こんにちは！ LOOB がお送りするニュースレター第3号(2006)です。今年には子供たちと英語を通じて交流する新プログラムを開始したり、ますますパワーアップした活動を行っています。日本とフィリピンのボランティアさん、支援者の方々には厚く御礼を申し上げます。

こども医療援助 ～エレンメイちゃんの手術成功！～



— LOOB について —

ロオブ: 2001年フィリピン証券取引委員会 (SEC) に登録された非政府組織 (NGO)。ビサヤ圏パナイ島のイロイロ市を拠点に、フィリピン人と日本人の有志により国際交流・協力系のプログラムを実施しています。

- ワークキャンプ開催
- 英語研修&子供ボランティア
- 日本語ボランティア
- 学資援助
- 養豚
- 古着・文房具の寄付
- フェアトレード

LOOB はこのような活動を通じて、フィリピンと日本の草の根的な相互理解を促進し、物的・人的支援の提供でコミュニティを支援しています。日本のカウンターパート(団体・個人)も募集中！

LOOB Inc.

Lot23 Block15,

NHA2 Mandurriao,

Iloilo city 5000, Philippines

Tel/Fax: 63-33-321-2040

電子メール info@loobinc.com

HP <http://www.loobinc.com/>



「自分にもできるかも」 キャンパーT 君の一言からタラバハン村に住むエレンメイちゃん(8歳)の目の手術を支援することになりました。極度の斜視であるため片目の視力低下が心配されていました。検診の結果、総費用は16万円かかることが分かったのでメンバーさん

お母さんからメッセージ。
Thank you for supporting our daughter Ellen Mae's eye operation. You are all like a miracle come true for our family. She's really livelier now, and we all feel blessed with all your help.
Thank you very very much and God bless you all...!

を中心にして義援金を呼びかけたところ、わずか10日で目標額を集めることができました！ キャンプを通じてエレンメイちゃんのことをたくさんの方が覚えていてくれたことも大きかったです。人と人の交流がこうして芽を結んだことはとても素敵ですね。

ご支援頂いた皆様、本当にありがとうございました！

こども医療援助 第2弾 ～Help! 白血病のクラレンス君～

昨年このニュースレターで紹介しましたが、急性骨髄性白血病と闘っているクラレンス・カルボン君(11歳)への義援金も引き続き募集します。昨年に全9回の化学治療(400万円)を受け、現在は金銭的な理由から薬草治療に切り替え、ヒーリング・ミサで神様に「奇跡」をお願いする毎日です。両親は多額の借金を抱えて、次の治療のメドがたっていません。



LOOB では1口3,000円で、200万円の募金を目指します。クラレンス君の命の綱を支えてあげてください。

クラレンス(左)と弟。発病前はクラスでも体が大きく成績も優秀だった。寝たきりで足が弱くなったため、現在は歩行の練習中。

英語研修 英語研修



子供ボランティア 子供ボランティア

平日はみっちり英語

今年1月から国立大学ランゲージセンターで開始した英語研修。1月～6月まで総勢11名の日本人が参加しました。

月～金は1日4時間マンツーマン授業。1対1でするので居眠りも厳禁です！自分の学びたいことを積極的にアピールすると授業の内容もきつと充実したものに。希望の授業内容になるよう LOOB スタッフがサポートしています。

先生（チューター）は20代の若い人が多く、フィリピンと日本の文化について意見交換したり、楽しく授業できると好評です！

クラス終了後はフリータイム。ホームステイ先の家族に戻ったり LOOB スタッフと出かけたりフィリピンライフを満喫できますよ！

週末は教育ボランティア

金曜日の夜から日曜日までは LOOB の週末ボランティア！地方のコミュニティに出張し、子供の英語への興味を引き上げる活動です！もちろん子供とたくさん交流できます。

日本人参加者とフィリピン人ボランティアは金曜の夜、 LOOB 事務所に集まり、ゲームなどのプログラムを一緒に企画。

英語を勉強中の方も、積極的に企画に参加することが大切です。企画を通じて自分の英語を鍛えると同時に、地方の現状も知ることができますよ。

子供たちとは「英語での遊び」を通じて交流するのですぐに仲良くなれます。愉快的な比人ボランティアとの出会いも素晴らしい経験をプラスしてくれます。



(左から) ①大学のランゲージセンター ②ホームステイ先の食事はシンプルだけど美味
③安くて甘～いマンゴー☆ ④外見だけ？カラフルなイロイロ博物館



(左から) ⑤子供たちと英語の歌♪ ⑥「ゲームがんばったから景品もらったよー！」
⑦ビーチで遊ぶ地元の子供 ⑧ボランティアも暗くなるまでビーチを満喫

【参加者募集中！】

英語研修&子供ボランティアの参加者は基本的に随時受けています。但し8～9月は以下の日程のみ。8月14日～21日、9月4日～11日。希望の方には案内書をメールで送付しています！



陽介・優ちゃんのイロイロ・インタビュー



英語研修を終えた陽介君と優ちゃんがイロイロ市について取材！

イロイロ市内の様子

都会で何でも手に入る。市内にはいくつもの大型ショッピングセンターがあり、ジブニーは街を網羅している。しかし道路は渋滞が慢性化していて、信号も数えるほどしかない。ほとんどの家では、水道、ガス、電気が整っている。しかし停電も多い。インターネットも一部では普及していて、携帯電話は若者のステータス！一方でごみ山やスラムも混在する。

地方の様子

ナムコンとタラバハン

ナムコンとタラバハンで共通して言えるのは、ほとんどの人がバンブーハウスと呼ばれる竹でできた家で生活していること。井戸は数家族で共有している。ガスはない。男性の職業としては漁業が大半を占めている。生活は収穫に左右されるため不安定である。子供たちは片道1時間歩いて小学校に通っている。道は適切に舗装されていないために、雨季にはひどくぬかるんでしまう。

LOOBの活動

週末は村の子供を対象にした英語によるアクティビティを行っていて、子供にとって、また日本人参加者にとっても良い経験ができる。

フィリピン文化

フィリピンの人々には客人をできる限りもてなすホスピタリティがある。どんなときにも、最善を尽くしたあたたかいもてなしをしてくれる。国民の90%がキリスト教徒なので、イロイロ市内にも多数の教会がある。どの家にも十字架やイエスの絵が飾ってあり、食事の前のお祈り、日曜日の教会でのミサが習慣となっている。信仰心はそれぞれだが、日本人の無宗教感覚に驚きを覚えるようだ。家族・親族の絆が非常に強く、互いに協力し、助け合うのが当たり前である。第2のいとこ、第3のいとこの存在には驚いた！

社会経済問題

まず失業率の高さが目に付く。定職を持たない人が日本と比べるとかなり多い。仕事が無いので収入が無い。子供を学校に連れて行けない。子供は良い就職先が無いといった悪循環である。

貧富の差がとても大きい。イロイロでは4つの大財閥がいて、家族の絆が強いのも手伝って富が集中している。交通渋滞が慢性化している。自動車の拡大に対して、道路整備が追いついていない。

週末ボランティアと一緒に活動したフィリピン人ボランティア3人に、英語で突撃インタビューしてもらいました！



Xtian



Betch



Marc

◇What is Iloilo for you?

Xtian (Left): It's a conservative and traditional city. It's mixed with various things like a melting pot..

Betch (Center): It's generally a safe and friendly city.

Marc (Right): It's the only place in the whole Philippines where the modified modernized type of jeepney is used.

◇What is Namocon and Talabahan for you?

X: If I grade their living standards, Iloilo will be 8 points, Namocon will be 5 points, Talabahan will be 3 points.

B: They are very hospitable and always welcome their guests. There is not enough practice of birth control, so most families have too many children. That's why education is limited.

M: Though both are rural places, Namocon is much easily accessible than Talabahan. However, another similarity might be the eagerness of the children in both places to learn.

◇What is Filipino culture?

X: It's a mixture, but it's conservative, so it takes a long time to change and adjust to different cultures.

B: We have hospitality and close family ties. We respect the elder. We love cooking.

M: Filipino culture seems to be a combination of Spanish and American with a little bit of Chinese and Japanese.

◇What can you say about Japanese volunteers?

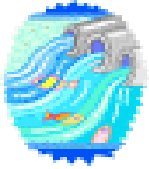
X, B and M: Japanese volunteers are DEDICATED, DETERMINED and DISCIPLINED!!!

総括：地方での英語キャンプ、イロイロ市内でのホームステイ、英語学校を通し、様々な人と出会った。それぞれ生活環境は違うけれど、皆とても温かい。明るく振る舞い、日々楽しんでいるように見え、親子、兄弟、親戚、近所など人と人の距離が近く深く感じられた。日本の都市部では失れつつあるものが、ここにははっきりと残っている。(陽介、優ちゃん)

*地方での英語キャンプは低所得世帯の子供の英語力を引き上げる活動です。比人ボランティアは市内に住む中流家庭の若者たち。活動中彼らがこんな事を言っていました。「活動は小規模だけどとても意義のある。自分が恵まれていることに感謝して貧しい同胞のためにがんばりたい！」貧困解決は同じフィリピン人の手で！こんな頼もしい若者が育ってくれば嬉しいですね。(小林)



フィリピンスタッフから



The past two camps we had were centered in water – potable water for students in Salvacion National High School in Guimaras, and for the barangay residents in

Namucon, Iloilo.

Much gratitude had been shown to us by them before, during and especially after we finished those projects. This coming camp, we would be finishing off those earlier projects by constructing, with them, the distribution system.

This early we are all excited to be a part, with you, in helping these communities by easing their hardships in procuring clean and potable drinking water for their everyday lives. Good luck and God bless you all!

(Camp Director, John)

【コミュニティ開発(ワーク作業)】

■14回ギマラス島キャンプでは公立高校の上水道を設置しました。「上水道」とは加工処理された安全な水のこと。そう、この学校にはそれまで飲み水がなかったのです。生徒は煮沸した水やミネラルウォーターを家から持ってきている状態でした。キャンプでは生徒たちと一緒に堅～い土をせっせと掘り、配水管を埋める作業をしました。先生も生徒もとっても喜んでくれました。

■15回パナイ島キャンプでは、井戸を掘りました。井戸はどうやって掘るのか知っていますか？フィリピンでは細長いスコップで人力だけで掘るのです。良い水源だったので5mも掘ると周囲から水がじわじわ。水をかき出しつつ、土を掘り下げ、約1週間で完成しました！この井戸はスクワッター(不法定住者)の定住計画に基づいて新住民の貴重な水源となる予定です！



井戸掘りの様子

夏季ワークキャンプ参加者募集！！

ハマ君(22)の報告書から

「水浴びやトイレ、洗濯、食器洗い用の水は井戸水から汲んでくる必要があります、自分もその水運びをよくしました。日本では蛇口をひねればきれいな水がでてきますが、この水運びを体験することによって、水の有り難味を身をもって感じました。日本では当たり前ですが、海外では当たり前ではないんだなと思います、日本に居るときの自分の物差しでは現地では生活していけないと思いました。オープンフォーラムでは生活観、職業観、恋愛観など考え方が違って学ぶことがとても多かったです！」



LOOB ワークキャンプは日本とフィリピンのボランティアが共同生活をしながら、地域住民と一緒に村の課題に取り組みます、今夏のキャンプもテーマはやはり「命の水」です。



あなたの探しものがきっと見つかる！

第16回ギマラス島ワークキャンプ

2006年8月3日～8月13日(参加費8万円)

第17回パナイ島ワークキャンプ

2006年8月21日～9月12日(参加費9万円)

ホームステイ、ワーク、学校、フィリピン講座、歴史観光、オープンフォーラム、豚の丸焼き作り、文化交流など多彩！

2006年度の「こども学資援助プログラム」対象者



月々1,000円で貧困家庭の子供たちの教育を支援できます。



物資を寄贈して頂いた方々へ

送っていただきました衣類・おもちゃ・文房具などはこの子供たちが暮らす村に寄贈させて頂いております。また週末の英語ボランティアでは参加賞や景品として子供たちに配っています。ありがとうございました。

LOOB メンバー募集

分類	年間費	内容
活動	賛助会員 5,000円 (団体)	実際に現地で活躍したい! 当団体の現地プログラムに参加する方は会員となります。会費は参加費に含まれます。
	賛助会員 4,000円 (個人)	
	賛助会員 3,000円 (学生)	
医療	医療サポート会員 3,000円	病気の子供達を支援したい! 病院に行けない子供達を応援してください。ケース毎の支援です。
教育	学資援助会員 12,000円	子供の教育を支援したい! 貧困家庭のこどもの通学を応援する活動。
	奨学金 高校生 28,500円	
	小学生 21,000円	

編集後記:

今回のニュースレターには「イロイロから Palangga」というサブタイトルを付けました。

パラंगाは現地語(ヒリガイノン語)で「愛する人」という意味。近しい友人の間では親しみをこめた呼び掛けの言葉にもなっています。

LOOBの活動を支えてくれている皆さんに、感謝の気持ちを込めて「パラंगा〜」です。これからも宜しくお願いします。(LOOBスタッフ一同)

LOOBの活動を応援して下さる団体・個人・学生の方々を募集中です!